北九州市民の会

2022.6 No.72（1）

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL 093-592-5000FAX 093-571-4346

北九州市民の会 検索

WEB：http://siminnokai.com
e-mail：koe@siminnokai.com

参院選公示まで1カ月

日本の進路が問われる大切な選挙

北九州市 / 福岡市 志位委員長が訴え 戦争か、平和か

小倉駅前で演説する志位委員長

公示まで1カ月となった参院選で、日本共産党は5月21日、勝利・躍進を勝ち取ろうと、全国で宣伝や対話、党勢拡大に全力をあげました。志位和夫委員長は北九州市、福岡市で訴えました。

志位氏が、「『戦争か、平和か』――日本の進路が問われる大切な選挙です。比例代表で６５０万票を実現し、正義の熱血弁護士・にひそうへいさんを含む５人のベストチーム全員の勝利を」と力を込めると、大きく広がった聴衆の輪から、盛大な拍手と歓声が湧きあがりました。

志位氏は、ロシア・プーチン政権がウクライナ侵略を開始してから３カ月近くになるとして、「危機に乗じて『９条を変えろ』の声が強まるもとで、『平和と憲法を守りたい』という願いも広がっています」と指摘。

「９条を生かして平和をつくる四つの呼びかけ」（❶国連憲章に基づく全世界の団結で、一刻も早く戦争を終わらせよう❷核兵器使用を絶対許さず、「核兵器のない世界」をつくろう❸危機に乗じた「戦争する国」づくりを力をあわせて止めよう❹９条を生かした外交で、東アジアを平和な地域にしていこう）を力を込めて訴えました。

平和ネットが19日定例街宣行動 危険な自公政権の狙い訴える

小倉駅前で宣伝行動

黒崎駅前で宣伝行動

今日の北九州黒崎駅前、日本共産党の真島さん、社会民主党の福本さん､来ていただいてアピールしていただきました。立憲民主党の古賀さん、れいわ新選組の大島さん･奥田さんからも、それぞれ中身の濃いメッセージをいただきました。

みなさん、今の政権や自民党などがどれだけひどいことを狙ってるかを、力を込めて訴えてくれました。

配布しているビラの内容と、演説の一致というのも、良かったと思います。打ち合わせもないのに（笑）。

本日の集会の録画は「市民連合ふくおか」のページでも見れます。
https://www.facebook.com/search/top...

（竹内俊一氏 FB より）

3つの制度改善を求めて市民運動を！ 「八幡市民会館の活用を求める連絡会」が要請

６月１日（水）､「連絡会」は「情報公開制度」「陳情・請願制度」「公共施設マネジメント制度」の改善を求めて市民運動に取り組んでほしいという要請を市民の会事務局会議に参加して訴えられました。趣旨に賛同し､市民の会として､３つの制度の改善に向けて以下の決定をしました。

①「情報公開制度」について
市民オンブズマンの人々をはじめ、今までに情報公開制度について議会陳情・請願した諸団体に呼びかけ、市民の会主催での交流会を開き「情報公開制度」のあり方を検討することから始める。

② 陳情・請願制度について
今までに議会陳情・請願した諸団体に呼びかけ、市民の会主催での交流会を開き課題を共有することから始める。

③「公共施設マネジメント制度」の改善について
北九州市長選挙の争点であり、政策化していく課題として検討していく

全国革新懇第４１回総会 憲法が光輝く尊厳ある社会へ

「平和・民主・革新の日本をめざす全国の会」（全国革新懇）は２１日、東京都内で第４１回総会を開きました。

戦争につながるあらゆる策動に反対し、憲法が輝く民主的で尊厳ある社会をめざし、共闘と統一戦線運動の前進・発展に奮闘しようと議論。討論では地域・職場・青年革新懇の代表らが「今まさに革新懇運動の出番の時」「統一戦線運動の新たな前進を」と活発に交流しました。

活発な討論が交わされた全国革新懇第41回総会＝21日、東京都千代田区

Zoom 会議だったので、私（三輪）も、初めて全国革新懇総会に参加しました。

北九社保協通信

報告・資料集　2022年5月号
5月27日　事務局発行

「食料支援＆コロナ困りごと支援村（第3回）」に連帯参加。

4月16日（土）にNPO法人労働相談センターと北九州地区労連の労働2団体が中心となって開催している「食料支援＆コロナ・困りごと・支援村」に相談員と現地要員として参加してきました。前回に引き続き真鶴会館での実施となり、場所の関係から来場者数が心配されましたが前回同様、80名近くの方が来られました。手分けをして来場者一人一人に声をかけ生活実態を聞いたうえで必要であれば相談コーナーへと案内しました。社保協以外からも弁護士や議員、労組などでそれぞれ専門分野の相談をうけました。特に緊急性、重要性を要する様な相談は見受けられませんでしたが、聞き取り調査の時に「最近、公園のベンチなどで夜を明かす若い人が増えた様な気がする。女性も結構いる。自分たちはこんな支援や相談先を知っているが、そんな若い人達には情報が届いているのかの心配」との話があり、さっそく夜回り活動をしている団体や議員が現地に赴くことを約束していました。そういう実態を聞くとやはりコロナによる生活に影響を受けている若い方々が潜在していることが伺えます。そういった人々にいかに支援制度や相談窓口の情報提供ができるかの創意工夫があらためて必要と実感したところです。

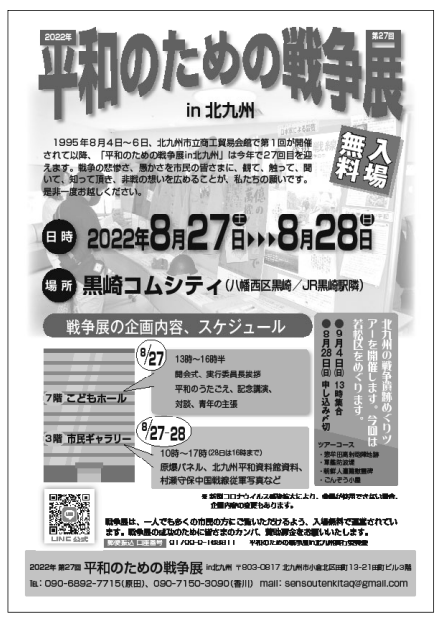
「コロナ電話相談会（第13回）」を実施。

4.23（土）にこの間、全国で継続して取り組まれているコロナ電話相談会に引き続き連携して取り組みました。10時～20時までの対応で26件の相談が福岡県をはじめ沖縄を含む九州各地から寄せられました。ここ最近の特徴として件数は少なくなったものの内容がより深刻化していることです。コロナの影響で収入が激減、解雇、雇止めなどで預貯金を取り崩したり、ありとあらゆる支援策や社協の貸付などで何とか生活してきたが、いよいよ限界となった方々からの切実な相談が多数を占めています。今回は地元メディアの取材はありませんでしたが毎回、中央で記者会見をしNHKをはじめ全国放送のニュースが流れると電話が殺到するための現在、1本でも多くの電話を受け一人でも多くの方を救いたいとの想いから会場の4回線に加え有志の自宅でも1回線、電話が集中する時間帯に5けてもらっています。登録されればフリーダイヤルから電話が流れてきますので、先方に個人電話番号を知らせる必要もありませんしその日以外は相談電話がかかってくる事もありません。ぜひ他の地域でもこういった形での取り組み参加にご協力頂ければと思います。

次回のコロナ電話相談会は6月11日（土）10時～22時に実施します！

困っている方、迷わず相談を！　0120-157-930　全国どこからでも無料

平和のための戦争展 チラシ出来ました



新婦人（北九州７支部）が「市民の会」と懇談

〝市長選で女性候補を擁立してほしい〟

来年早々の北九州市長選に向けて活発な意見交換となった懇談

6月14日（火）午前、市立生涯学習総合センターで、新婦人北九州7支部の中心メンバーが市民の会事務局と懇談。市政への要求と活動の現状を縦横に語りあいました。

各支部の発言内容は以下の通りです。

小倉南：260名会員の現状維持が困難になっている。市政では、保健所を1か所に削減したことで職員の300時間を超える残業実態が深刻。学校統廃合、通学路問題、学校給食の民営化の弊害など指摘。

小倉北：会員の高齢化で福祉乗車券の要求は強い。ほかに補聴器助成を7支部で議会陳情した。

八幡東：200名会員は高齢化している。学校統廃合により若い人が住まない街になっている。次世代につなぐため、ジェンダー部を置いた。都計審は、区域区分見直しは、基本的には正しいという見解、今後も油断できない。

若　松：以前は、海上風力発電やPCB処理問題の活動に取り組んだが今は、頓挫している。福祉乗車券署名に取り組んだ。区域区分問題では撤回を求める署名に取り組み感謝された。

門　司：北九州市で最も深刻な高齢化。会員も縮小、娘・孫に声をかけている。運動の1成果として、学校に生理用品を常備させた。濃厚接触者として保健所の電話対応に唖然（40回電話、挙句「ホームページを見てください」）。複合施設問題で、市民の会と共同で撤回運動をしている。

八幡西：5月29日支部大会無事終了。会員減少は小組活動で対応。郊外団地居住者は、買い物難民となっている。市長選は女性候補者を立てていただきたい。

八幡市民会館の活用を求める連絡会（69回）開かれる
8年半の運動記録　パンフレット発行へ

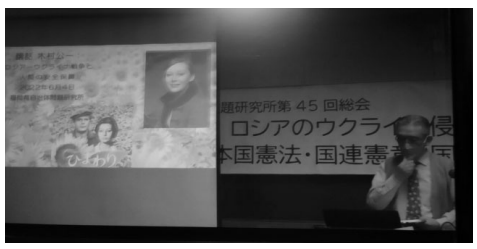
8年半の活動で見えてきた課題について話し合うメンバーの皆さん

6月16日（木）、2か月ぶりに上記連絡会が開かれました。検討事項の一つは、約8年半の運動を通して改善されなければならないと痛感した3つの課題について。情報公開制度、陳情請願制度、公共施設マネジメント制度の改善を求めて、いかに運動をしていくか検討した。

もう一つの課題は、約8年半の運動の記録をパンフレットにすること。6月いっぱいが原稿締切、10月発行。中間報告がなされたが、ワクワクするような内容と作業の進み具合を感じた。

次回連絡会は、8月4日（木）13：30　大谷市民センター。

福岡県自治体問題研究所第４５回総会・記念講演
ウクライナ侵略テーマに開催



6月4日（土）、総会・記念講演は早良市民センターで開催されました。記念講演はユーチューブで同時配信されました（右下のQRコードを読み込んでご覧ください）。今でも、自治研ホームページから見ることができます。

《第一部》記念講演会は、13時30分～15時55分

テーマ「ロシアのウクライナ侵略を考える―日本国憲法・国連憲章・国際人道法の立場から」

◎主講演「ロシア・ウクライナ戦争が生み出した避難者問題と人間の安全保障」

講師は、木村公一牧師 福岡国際教会（日本バプテスト連盟）

◎講演「今回の戦争をどう見るのか」

講師は、石川捷治・九州大学名誉教授（政治史）

《第二部》総会は、16時5分～16時55分

総会議事が報告され承認された。

平和のための戦争展 実行委員会開催
企画、展示内容を確認

メンバー全員が戦争展への思いを話し、当日に向けて団結を強めた実行委員会

第27回平和のための戦争展in北九州の第3回実行委員会が6月8日夜、北九州市立生涯学習総合センターで開催され、約20人のメンバーが参加し、戦争展当日の準備段取り、展示パネルの内容確認などを話し合いました。

今回の戦争展は8月27日㈯、28日㈰、八幡西区黒崎の黒崎コムシティ（JR黒崎駅隣）で開催されます。2年ぶりに戦争遺跡をめぐるツアーも行う予定で、若松区の戦跡めぐりを計画しています。

恒例の「青年の主張」は、北九州平和資料館（若松区）を訪れた市内大学生に参加を打診する予定で、8日の実行委員会にも学生が参加しました。

次回実行委員会は7月20日に行う予定です。

6･12戦争反対！いのち･くらし･憲法を守る！
福岡県下一斉行動

6月12日（日）14時から小倉駅南口ペデストリアンデッキ周辺で、福岡県そうがかり実行委員会が呼びかけた「6･12戦争反対！いのち･くらし･憲法を守る！」福岡県下一斉スタンデング行動が取り組まれました。

北九州市では、「平和をあきらめない北九州ネット」が呼びかけました。北九州地区労連や新日本婦人の会、健和会、北九州社保協、ユニオン北九州、憲法改悪に反対する政党などから50人を超える参加があり、各団体によるリレートーク、スタンデング、署名の集約などに元気いっぱい取り組みました。署名は27筆集約されました。

（堀田和夫氏FBより）